令和６年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）都立小岩高等学校　学校運営連絡協議会（全日制課程）

（２）事務局の構成　主任教諭（教務主任）事務局長、デジタル総務部非常勤教員１名　計２名

（３）内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主任教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、
主幹教諭(進路指導担当)、主任教諭（デジタル担当)、　計７名

（４）協議委員の構成

ＰＴＡ会長、近隣中学校校長２名、近隣自治会長、近隣消防署所長、近隣警察署生活安全課、
近隣中学校ＰＴＡ役員、地域有識者１名、同窓会、計９名

２　令和６年度学校運営連絡協議会の概要

（１）学校運営連絡協議会（第１～３回）の開催日時、出席者、内容、その他

①　第１回　令和６年　６月２１日（金）内部委員９名、事務局１名、協議委員６名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画説明、本校の現状と課題等説明、意見交換

②　第２回　令和６年１１月１５日（金）内部委員９名、事務局１名、協議委員９名
教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に関する意見
学校評価アンケートの内容検討、協議

③　第３回　令和７年　２月　７日（金）内部委員９名、事務局１名、協議委員５名
教育活動に関する報告、学校評価結果の報告、意見交換

（２）評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

①　第１回　令和６年　６月２１日（金）内部委員９名、協議委員６名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価の課題確認

②　第２回　令和６年１１月１５日（金）内部委員９名、協議委員６名
今年度の学校評価の観点・項目・内容・実施時期の検討、回収率向上の方策検討

③　第３回　令和７年　２月　７日（金）内部委員９名、協議委員５名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）学校評価の観点

「学校生活への満足度」「学習指導」「生活指導」「進路指導」の観点で実施する。

（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模

・　令和６年１２月	全校生徒	９８５人（回答率９４％）
・　令和６年１２月	保護者	７４３人（回答率７１％）
・　令和６年１２月	近隣地域住民	８３人
・　令和６年１２月	教職員	４４人（回答率７６％）

（３）主な評価項目

学習指導、進路指導、キャリア教育、生活指導、家庭・地域との連携、いじめ防止

（４）評価結果の概要　（学校及び校長への意見・提言内容）

・　生徒は小岩高校に入学してよかったと思っている。（　）は昨年度。
生徒　９４％（９１％）　保護者　８８％（９２％）　教職員　９８％（９５％）

・　小岩高校の生徒は生き生きと学校生活を送っている。
生徒　９７％（９４％）　保護者　９０％（９３％）　教職員　９８％（９６％）

・　学校は落ち着いて授業に集中する雰囲気である。
生徒　６９％（６８％）　保護者　７８％（８４％）　教職員　６６％（８８％）

・　授業は進路希望実現に必要な学力を身に付けるのに十分な内容である。
生徒　７８％（８２％）　教職員　６８％（７５％）

・　補習、講習は進路実現のために十分な量と内容である。
生徒　８４％（８０％）　教職員　７５％（７７％）

・　学校は担任や進路部の先生からの情報提供が豊富で、生徒の相談にもよく応じている。
　生徒　８７％（９０％）　保護者　７５％（７６％）　教職員　９１％（９１％）
・　生徒一人一人の個性や適性に対応した進路指導を行っている。
　生徒　８２％（８５％）　保護者　７２％（７４％）　教職員　８０％（９３％）
・　学校は進路の実現のために、将来や進路のことを自ら調べさせたり、今すべきことを考えさせたりするように指導している。
　生徒　８８％（７８％）　保護者　７７％（７６％）　教職員　８０％（７７％）
・　学校は生徒が学校生活に集中し、落ち着いた学校生活を送るために十分な指導を行っている。
　生徒　８５％（８７％）　保護者　７８％（８４％）　教職員　７３％（７９％）
・　生徒の服装や身だしなみに関する指導は十分である。
　生徒　９１％（８７％）　保護者　６８％（８４％）　教職員　５０％（５２％）
・　学校は社会の一員としての態度を身に付けるための指導を十分行っている。
　生徒　８８％（８６％）　保護者　７８％（８１％）　教職員　５７％（７５％）
・　学校は遅刻指導をはじめ、規則正しい生活習慣に関する指導を十分行っている。
　生徒　９４％（９２％）　保護者　８６％（９０％）　教職員　８０％（８６％）
・　学校は、いじめ防止に積極的に取り組んでいる。
　生徒　８６％（８７％）　保護者　７６％（８７％）　教職員９８％（１００％）
・　生徒は体育祭や文化祭、また合唱祭や球技大会などの行事を主体的に取り組んでいる。
　生徒　９６％（９４％）　保護者　９１％（９３％）　教職員　８２％（９１％）
・　小岩高校では部活動が充実している。
　生徒　９６％（９７％）　保護者　８８％（９３％）　教職員９３％（１００％）

（５）評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

・　学習指導において「落ち着いて授業に集中する雰囲気である」項目については、生徒の評価は 1 年生が大きく減、2 年生は大きく増のため平均すると昨年度並み。「授業は進路希望実現のために必要な学力を身に着けさせるのに十分な内容である」「補習、講習は進路実現のために十分な量と内容である」も昨年度並みであった。授業規律を守り、学校全体で意識を徹底し、学習環境を整え、落ち着いた環境の中授業に集中することで、学習の基礎が確立すると思われる。また今年度も全学年による朝学習の実施、朝及び放課後の補習・補講の実施を行った。さらに学年別の詳細を検討し次年度に生かしていきたい。

・　安全に配慮した体育祭や、文化祭、合唱祭を実施できたことは生徒にとっても大変充実感を味わうものとなった。行事や部活動は生徒が今年以上に主体的に企画・運営し、積極的に参加できるように指導していく。行事・部活動と学習の両立について、次年度からは下校時刻の設定等、どちらかに偏ることなく、バランス感覚を大切にしながら、行事や部活動の一層の充実・活性化と学力の向上を今後も維持し、さらなる高みを目指していく必要がある。

４　学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・　中学校管理職、地域の方、保護者など様々な立場の方から、多様な視点で意見をいただいた。肯定的な意見も多くいただき、教員のやる気にもつながっている。これを励みとして小岩高校の一層の改革を推進する。

＊　委員からの具体的な意見

・　明るく活気あふれる学校だと感じている。
・　自転車のマナーについて、朝の登校時刻の変更を行い改善されたが、ヘルメットの直用率ははまだ良くない。
・　地域の避難所としての役割を期待している。
・　より地域の誇りとなる学校になるため、進路指導は大切だ。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・　生徒の身だしなみの改善、指導体制の強化
・　遅刻指導等、生活指導の一層の充実
・　交通ルール・マナー、ヘルメット着用等、自転車指導の継続
・　防災の地域連携

5　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

・　引き続き安全を第一に行事や部活動などを実施し、生徒の命・健康を優先する学校運営を行う。
・　防災活動等において、地域や保護者との連携を深め生徒会やボランティア委員地域防災訓練等への参加を通して、学校への理解を促進し、地域に信頼される学校づくりを進める。

（2）学習指導

・　一人１台端末活用や、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びや協働的な学びを意識した授業の工夫を図り、幅広い学力層全体の学力向上に努める。
・　授業規律の一層の確保に努め、学習に専念する雰囲気を醸成する。
・　基礎・基本の定着を図り、生徒の興味・関心を高め、受験のための勉強の仕方についても教え、進路実現に向けた学力の向上を図る。
・　進路意識を早い時期からもたせ、学習意欲を高め、総合的な探究の時間を活用し、キャリア教育の充実を図る。

（3）特別活動

・　社会規範やルールを守る姿勢、人間関係形成能力の向上を図るために、部活動ガイドラインの遵守をし、効率的で効果的な指導を一層工夫する。

（4）生活指導

・　身だしなみの徹底、自転車の乗り方・ヘルメット着用に関する指導について、全教員で組織的に強化して取組む。
・　式典等設定した「正装」を基にして、身だしなみに関する生徒の意識を向上させる。
・　生活指導部の当番の教員が、朝の立ち番指導を行い、挨拶指導や駐輪指導と共に、ヘルメット着用の指導に努める。また、生徒会による自転車登校マナー向上キャンペーンを実施する。

（5）進路指導

・　進路指導部が中心となって１学年から３年間を見据えたキャリア教育を体系的に推進する。
・　小岩高等学校海外英語研修を希望者に実施し、国際理解教育を推進する。
・　模擬試験等を進路指導部で進行管理することで、生徒の学力の伸長状況を継続的に把握し、計画的に個々の生徒に応じた進路指導を行う。
・　長期休業中の講習のまとめ、勉強合宿等の進行管理などを行い、計画的、組織的な進学指導体制を構築していく。

（6）健康・安全

・　WBGT 計測し、科学的根拠に基づいて、安全に夏の部活動を実施する。
・　校内美化を進め、学習の場にふさわしい、落ち着いた環境づくりを図る。
・　教員間やスクールカウンセラーとの連携を密にして、生徒の精神的な健康管理を図り学校全体の教育相談体制の強化を図る。

6　「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数　９人（うち未提出１名、無回答１）

（2）学校が改善されたと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
4	2	1	0	0

7　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】　　職員会議　なし　　企画調整会議　なし